

県政速報 史上最大の大型補正予算成立！719億7763万（累計1兆7764億7822万） いつまでも住み続けたいくなる夢と希望の溢れる埼玉県を創造！ 子育て真っ最中の埼玉県議会議員 民主党・無所属の会 なかしま 浩一 県政ニュース Vol.9 民主党・無所属の会 県政報告（戸田版）		発行：民主党・無所属の会 「県政調査・IT何でも相談室」 戸田市喜沢南1-4-17-514 TEL/FAX 048-443-8640 携 帯 090-1653-7090 e-mail Nakashima@arscom.co.jp http://kengi.nakashima-kouichi.com/ お気軽にご依頼下さい！ こちらから出向いて相談に応じます。 県民のみなさんの声を寄せてください。	
主な議案 補正予算概要（カッコ内は本予算と補正の合計） 社会福祉施設生活環境改善：4億48百万 ・老朽化したトイレや風呂場改修に助成 障害者自立支援法の安定運用：15億13百万（計94億） ・福祉、介護職員の処遇改善事業者に助成 ・新体系サービス移行により収入減少事業者に助成 介護職員処遇改善：37億57百万 ・介護職員の報酬アップに取り組む事業者に助成 秩父モデル地域支えあい事業の展開：2千万（計61百万） ・援助必要な高齢者、障害者に元気高齢者が支援できる事業運営費助成 住宅用太陽光パネル：7億11百万（計11億11百万） ・既存2600件助成予定を6800件分に拡大 ハイブリッド、天然ガス車購入：3千万（計1億28百万） ・タクシーや教習所などの次世代自動車購入に助成 私立幼稚園、保育所の園庭芝生化：1億91百万 ・300ヶ所の芝生化と植樹などに補助 中小企業省エネ設備導入支援：6億 ・10%補助で県内に60億円の直接需要 その他の議案 所沢あおぞら特別支援学校新設平成24年4月 ・県立高校5校の統合で所沢東高校活用し30学級程度 埼玉県労働会館を平成22年3月で廃止 ・1日平均30件800名程度利用されていますが、老朽化に伴い耐震補強もままならず廃止 警察ヘリコプター「さきたま」の更新 ・S61に配備された日本最古のヘリを更新、フランス製の商社を経由せず購入したため65%の超破格の安値で落札		新型インフルエンザ インフルエンザの種類はA型、B型、C型の3タイプ A型とB型がパンデミック（世界的大流行）の可能性があり、突然変異はA型で可能性が高い、過去にHAで16種類、NAで9種類変異しており、16×9＝144種類の変異がありうる。今年の流行はH1N1タイプだが弱毒性。鳥は殆どの種類のインフルエンザにかかっているが、基本的に人に感染しない、豚は人の身体をこじあける遺伝子のカギを持っている（要注意）、過去にH5N1の鳥から人への感染が発見されたが、人から人への感染なく、大流行に至らなかった（突然変異がおきる可能性が怖い） 2009型への埼玉県現状の主な対策 ◎24時間体制の相談窓口廃止：7月15日で発熱相談センターを紹介するための窓口は閉鎖し、相談は保健所の専門職員などで継続 戸田市医療保健センター健康推進室：048-421-4114 川口保健所新型インフルエンザ相談窓口：048-262-6111 ◎発熱外来廃止：7月9日～全医療機関で対応していただけるよう県医師会と合意、補正予算でN95マスクやゴーグルは医療従事者用に配布 ◎検査体制：集団感染の可能性があると思われ学校が判断した場合のみ検査機関で検査、通常は医療機関の簡易検査キットでインフルエンザかどうかのみ検査する（この時点で新型かどうかは不明） ◎タミフル備蓄：H20まで58万人分、H21：26万人分、H22・H23：25万人分で合計134万人分を備蓄、その他に国と製薬会社の備蓄がある ◎リレンザ備蓄：H21に15.2万人分備蓄（H22、H23分を補正で前倒し備蓄）、リレンザは副作用もなく変異したタイプにも効能ある可能性が高い ◎ワクチン：国で新型用を年内に1700万人分用意する予定だが、摂取する順番は未定。季節性ワクチンとのバランスがとれるか？疑問あり！ 新型インフルエンザについては、突然変異が一番心配されるので突然変異の確率を少なくするために、感染する人をへらす。そのため感染しない予防として、個々人のうがい・手洗い・咳エチケットの励行が必須 国費補正予算モデル事業 子どもを犯罪から守るための環境づくり支援モデル：3840万 ・新曽小学校区（氷川町1～3丁目）の通学路や公園等のポイント約20ヶ所に防犯カメラ全国15ヶ所でモデル事業、埼玉県では戸田市のみ	
		四方山話し…… 魅惑の埼玉ブランド もう「ださいたま」なんて言わせない アニメのネットワーク 人気アニメ「らき☆すた」の舞台は関東最古の大社「鷲宮神社」（鷲宮町）、「となりのトトロ」の所沢市、「鉄腕アトム」の新座市、「クレヨンしんちゃん」の春日部市、「赤き血のイレブン」のさいたま市立浦和南高校 スポーツ 野球：ライオンズ サッカー：レッズ、アルディージャ コバトン倶楽部 （埼玉県の魅力を全国に発信する強力なメンバー） 堀尾 正明（さいたま市）キャスター、バラエティなど 林家たい平（秩父市）囃家 吉澤ひとみ（三芳町）元モーニング娘リーダー 石川 遼（松伏町）プロゴルファー 土田 晃之（さいたま市）芸人 食のさいたまブランド 彩玉：大きな甘い梨 味来：甘いトウモロコシ 彩のモロコ：つまみにもってこい的高级淡水魚 ぼろたん：むきやすい栗 彩のかがやき：食味は[コシヒカリ]並、粘りは[コシヒカリ]以上で病害虫に強く安心・安全な米	

予算委員会質問（その2）

道路整備とその財源

中島 投資効果の高い公共事業費については前年度並みの事業費を確保し真水を2割以上増加させているということ、地元建設業界への発注を確保するという事で、経済低迷で打撃を受けている地元業者にとっては誠にありがたい予算編成になっており大いに評価される。用地買収を伴う新設道路整備を抑えて、補修関連を多くすることで工事費にまわすことにより真水の増加になったということだ。用地費から工事費に振替えたことで、今後の道路整備への影響はないかと危惧するが、今後の道路整備計画の見直しも合わせて行ったのか？その影響範囲はどの程度なのか伺う？

上田知事 用地費から工事費へのシフト、真水をより多く確保するというのは、時限的な課題で、ずっとやれば工事する用地がなくなる。ここ1～2年は問題がないが、既定の路線、つまり優先順位を決めた道路について、優先順位の3分の1のところ予算の3分の2をかけて、できるだけ早く道路整備を行っていくという考え方については変わっていない。

中島 道路予算は道路特定財源の一般財源化に伴い地域活力基盤創造交付金が創設された。これにより、道路に関する地方債が見直され一般公共事業債の充当率が現行の45%から倍の90%に引き上げられた。また、単独事業についても通常の事業量に相当する部分も対称とする地方道路等整備事業債が創設された。県ではこの財源を考慮した道路整備計画の見直しは行ったのか伺う？

併せて、県債を抑えるということは将来に借金を残さないという基本だが、今は景気対策という意味も含めて、国の見直しなり、新しい制度、あるいは事業債の仕組みは、緊急事態には少しでも経済対策をうち、少しの借金は目をつぶるではないけれども、ありじゃないかという方向性にも見えるが、国の考え方を活用した県の対策について併せて伺う？

上田知事 圏央道や上尾道路の整備が進められている埼玉県は、国としても重要視しているエリアで、国の制度を充分活用し、必要な道路を整備していく。

中島 工事の発注については一般競争入札で行うと地元業者優先は図れないこともあるが、地元業者にどういったやり方で発注量を確保するのか？

県土整備部長 県内企業がより多く受注機会を確保できるよう、工事規模を工夫したり、地域要件を県内業者に限定するなどの一般競争においても工夫をする。橋梁を始め、ガードレールの整備、道路照明灯は電気屋さんとか、歩道橋の塗装などは塗装屋さんとか、様々な業種を対象とした工事の発注に努める。

ふるさと創造資金：H21 県予算 31 億 2 千万

- 戸田ヶ原再生事業 14,000 千円
道満グリーンパーク周辺の自然と共生するまちづくりを市民やボランティア団体と推進
- 元気なまち‘とだ’健康づくり大作戦 500 千円
ウォーキング大作戦、いきさわやか教室の実施及び健康フェスティバルによる啓発
- 笹目南町会集会所建設 5,000 千円
- 全中学校に防犯カメラ設置 458 千円
- 小中学校不審者制圧ネット整備 419 千円

行政委員に月額報酬か日割り報酬か

中島 本年1月大津地裁では滋賀県が、労働委員会、収用委員会、選挙管理委員会に対して、月額報酬を払っているのは勤務実態とかけ離れていて違法だということで、滋賀県知事に月額報酬を支払わないように求めた。定例会の出席だけが委員の仕事ではないし、事前調査や研究もあるはずなので、会議の出席だけで報酬を判断することはできないと考えるが、税金から報酬が支払われるので、一般常識で妥当と考えられる報酬の範囲を県民に理解されることが必要だ。また、その成果も鑑みる必要がある。実態調査を行い論理的な説明責任を考えると日額制も選択肢の一つに入ってくるのではないかと？県の各行政委員会の活動実態と報酬の状況について伺う？

上田知事 悩ましい課題や重い結論を出す仕事、高いレベルでの議論を必要とする仕事もある。220万の報酬では安すぎると思われる仕事をしていただいている委員もいる。知事に就任したころ教育委員会の議論が陳腐だということで議事録を全部読み、指摘どおりと感じ、全部の教育委員をかえようと思った。以来、すべての委員会は1週間前等に資料を送り終わった後に次の資料の配布をする仕組みが出来上がっている。世の中の常識は変わってくるので、いつまでも同じでいいとは思っていない。当面、今のままでと考えており、むしろ内容に問題があれば、その時点で変える。内水面漁場管理委員会はもう日額になっているが、確かに収用の案件が減ってきているのでやや収用委員会が少しは楽になっているが、それ以外はそれぞれ重い、単純に計れないと思う。

緊急雇用創出基金事業（H21～H23で約150億、15000人臨時雇用）

離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の次の雇用へのつなぎの雇用
H21 予算：県分21億（1500人）決定済み、市町村分29億（2900人）は予算枠取り
戸田市アーカイブスセンター設立に伴う史料整理及びデジタル化
一般市民が所蔵史料を検索できるよう、データベース化して管理するとともに、HPを作成し、公開して利用の便に資する **7,177（千円）6人雇用（5人新規）**
戸田市道路照明灯及び防犯灯の一元管理台帳作成
道路照明、防犯灯の設置状況をGISシステムを利用して管理し、新たに証明設備を設置する場合に備えた計画用台帳を作成する **2,100（千円）4人雇用（3人新規）**

地方分権改革推進状況

義務付け・枠付けの見直し（10,057条項中4,076条項に廃止、条例委任で見直し）
国の法令によってなされ、自治体が自主的に定める余地を認めていないもの
国の出先機関の見直し
・直轄国道、農林水産統計調査、無料職業紹介の事務、権限の見直し
・**国交省地方整備局や農林省の地方農政局を廃止、地方振興局（地方公務局）に統合（県では国交省関連で河川事務所と出張所、ダム管理事務所、国道工事事務所、森林公園事務所等、農政局関連で統計情報センター、農業整備事務所等が対象）**
・人員の削減として地方移管23,100人、スリム化11,500人合計34,600人
（県の対象は3,800人、何人県に移管されるか削減対象かは人材調整準備本部で調整）

県税決算見込み速報：7838億6300万（前年度比△282億6800万）

建設業、輸送用機械器具製造業、電気機械器具製造業など多くの業種において減益のため法人県民税及び法人事業税の減収
新車課税台数の減少や暫定税率の失効等による、自動車取得税の減収